

207

資料通報第八輯

支那鐵道關係資料目錄

昭和十四年十一月

中支建設資料整備委員會

(上海·興亞院華中連絡部內)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

始



907

58

資料通報 既刊目次

第一輯	全國經濟委員會刊行物目錄	昭和十四年十月
第二輯	支那經濟財政金融關係資料目錄	同
第三輯	支那農業關係資料目錄	同 十一月
第四輯	支那水利關係資料目錄	同
第五輯	支那鑛業關係資料目錄	同
第六輯	支那公路關係資料目錄	同
第七輯	支那土地法關係資料目錄	同

資料通報所載の資料類は、現在軍管理の下に中支建設資料整備事務所に於て整理中にして參觀・閲讀・貸出に就きては原則として之を認め居らざるに付爲念申添ふ。

R
025.922
C67

支那鐵道關係資料目錄

1. この目錄は、南京珠江路中支建設資料整備事務所整理部(圖書)に保管整理中の資料から、支那の鐵道に関する文獻を抽出して、これに内容概説を附記した。鐵道關係の資料類は、鐵道部・交通部應舎が戦火を蒙つた關係上、整備事務所に接收し得たものが鮮く、従つて鐵道豫定線に関するものゝ如きは皆無の状態である。鐵道の名稱の如きも凡て事變前の稱呼に従ひ、便宜的に以下の如く分類した。

1. この目錄は、書名、編著者、發行所、發行年月、型、頁數及び内容概説の順序に記述した。

1. この目錄の編纂は、中支建設資料整備事務所編譯部(小山秋平)が擔當した。

總記	1	鐵道發達史	4	鐵道法規	7
聯絡運輸	8	貨率	10	鐵道統計	11
鐵道會計	11	北甯鐵道	14	津浦鐵道	15
平漢鐵道	15	平包鐵道	16	膠濟鐵道	17
隴海鐵道	17	北支那諸鐵道	18	京滬滬杭甬鐵道	19
中支那諸鐵道	20	粵漢鐵道	21	南支那諸鐵道	21

總記

中國鐵道問題參考資料索引 麥健曾・李應兆 交通大學研究所北京分所 民國25年7月 四六倍版 260頁

(1)鐵路經濟原理 (2)鐵路史 (3)鐵路政策 (4)建設計劃 (5)鐵路概況 (6)沿線經濟概況 (7)法規 (8)行政及び組織 (9)業務 (10)車務 (11)財務 (12)工務及び機務 (13)總務 (14)戰時運輸 の14に分ちて、書名、著者又は編者、出版所、出版時期を示すもので、所掲書籍は支那文約3300冊、英文1500冊である。

鐵道年鑑(第一卷) 鐵道部鐵道年鑑編纂委員會 民國22年5月 四六倍版 1364頁

民國20年度版。民國20年7月より21年6月に至る一ケ年間の鐵道行政業務の各般に互る説述にして、22章附録6項目に分つてある。

鐵道年鑑(第二卷) 鐵道部參事廳第四組 四六倍版 1912頁

民國21年度版。民國21年7月より22年6月に至る一ケ年間の鐵道百般に関する記述である。

鐵道年鑑(第三卷) 鐵道部秘書廳 上海商務印書館 民國25年11月 四六倍版 1497頁

民國22・23年度版。民國22年7月より24年6月に至る二ケ年間の鐵道に関する年鑑である。

全國鐵道綫網總設計書 四六倍版 40頁

交通事業革新方案附件6にして、全國鐵道綫路網計劃の概要を列挙せるパンフレットである。

庚關兩款築路計劃提案 鐵道部長孫科 四六版 32頁

英・露・伊に對する庚子賠款(北清事變賠償金)は完済期限民國38年に二億六千七百萬元となり、民國18年より32年に至る15年間の海關收入増加額の半額は約二億七千萬元となる。この二項の財源を擔保として公債を發行し四億元の手取りとなし、之を以て二千五百哩の鐵道を敷設せんことを、鐵道部長孫科の名を以て提唱したのが本書である。

交通事業革新方案 四六倍版 46頁

長距離電話、無線電信、電機製造廠、自動車車輛製造、航空、鐵道、國道、製鐵鋼所、揚子江水道、造船廠の建設、開設、計劃を述べてある。鐵道に關しては既成鐵路を根幹とする支那本土、東三省、蒙古、西藏に至る全版圖に互る鐵路網の完成を期

する一理想案を僅か46頁に略述せるに過ぎない。
編者、發行所一切明示してゐない。

交通計劃 70頁

熱河、察哈爾、蒙古、寧夏地方の鐵道、公路、水路、電氣等交通開發の計劃を紹介したものなれども、書籍の題名、著者名、發行所の明示なく、且巻末18頁毀損してゐる。北部邊疆地方の將來を考ふる者に好參考資料となると思惟される。

漢猛德將軍視察中國國有鐵路報告 ハモンド 民國26年4月 四六倍版 138頁

1934年國民政府は英國よりハモンド將軍を聘して、鐵道の改善を計つた。本書は其の孔祥熙財政部長に對する報告書にして、緒言、工程、列車の運行、機廠、車務其の他18項目に分つて中國國有鐵路の改善意見を述べてゐる。尙特に鐵道部の改組に關しては、部長直屬の鐵道總監督1名を置き、其の下に財務、車務、業務各處長、土木總工程師、材料處長、人事處長、秘書長 の職を設けて、總監督、車務、業務、材料各處長、總工程師 の五職の位置には外人即ち英人を充てんことを力説してゐる。(邦譯がある。)

中國鐵道外債論 吳鼎昌 奉天圖書發行 所 宣統2年10月 菊版 90頁

著者は東京高等商業學校卒業生にして、全文を9節に分ち、鐵道外債の可否を論じてゐる。

鐵路借款提要 張競立 民國5年9月 菊版 226頁

民國5年末現在償還未済の鐵道を、交通部負擔(35口)及び財政部負擔(3口)及び商辦鐵道として、南潯鐵路の借款につき、借款名稱、契約成立年月日、債權者、借款用途 の要項のみを列挙してゐる。

中國鐵路指南 胡棟朝 上海廣智書局 光緒33年6月 菊版 189頁

著者は1901年米國に留學、土木工學を修めて歸國後、支那鐵道の發達を慨嘆し、本書を著した。鐵道建設の初步解説書である。

交通救國論 葉恭綽 上海商務印書館 民國15年7月 四六版 111頁

支那各種交通機關の不備、交通行政の紊亂、特に鐵道に關する情況に悲憤慷慨してゐる。支那鐵道の對外關係及び鐵道財政に言及して、國家の興亡を論じてゐる。1頁11行30字詰3號活字、一讀に値する。

路鐵關係論 翁文灝 民國17年10月 菊版 40頁

民國15年2月農商公報所載のもので、これを日本人が支那鐵業時報に翻譯發表したものを再び譯したもので、支那の各種礦産と之を運搬する鐵道に關する論文である。

鐵路與公路 洪瑞濤 南京交通雜誌社 民國24年5月 菊版 288頁

鐵路整理と鐵路統制、鐵路運價政策、各路運輸成本計算方法及び其の運用の探討 主として鐵道に關聯した時事問題を、雜誌「交通雜誌」に掲載されたものを集めて、單行本としたものである。

路政論叢 曾仲鳴 1934年3月 四六版 368頁

卷頭、東北鐵路問題と題して、(1)日本の滿洲經營に毒矢を放ち、一轉して、鐵道部實行負責運輸(2)國有鐵路の重要債務(3)鐵道整理と管見(4)交通教育の過去と將來 其の他45項の題下に時事所見又は偶感を記述したもなれども、内容は甚だ整はない態がある。

鐵道世界(歐亞兩州樣本) 蕭仁源 民國 24年12月 三五倍版 854頁

民國18年著者は鐵道部より派遣されて、世界各國の鐵道を視察し、特に獨逸にて種々研究する所があつた。同21年歸國後外遊中の所見、研究を基礎として本書を著した。各國別に其の鐵道の沿革及び發達情況を述べたるも、特に英・獨二國に就きては詳述してゐる。支那の鐵道に關しては沿革、組織、路產統計、運輸概況、財政情態、鐵道債務、最近建設中及び計劃中の鐵道 を七章に分つて詳述し、比較的要領を得たものである。

實驗車站管理學 張鵬飛 民國25年1月 四六版 184頁

著者は膠濟鐵路職工訓練所の事務一般の講師である。其の教材を主として、實務の經驗より得たことを按配して本書を著した。

吾國鐵道枕木問題之研究 王以瑗・楊城 陳善繼 上海交通大學 民國22年5月 菊版 116頁

鑄鐵、コンクリート、木材の各種枕木につき長短を論じ、枕木に關聯する造林、枕木の減價償却 を説いてゐる。

907
58

交通大學管理學院鐵道經濟論叢 管理學 院鍾偉成 上海交通大學 民國22年 2月 四六倍版 182頁

上海交通大學の研究報告書の一にして、鐵道に關する運輸、運賃、統計、會計等の10論叢を掲げてゐる。

鐵路常識 李樹人 上海商務印書館 民 國24年5月 四六版 254頁

(1)中國鐵路概要(二編) (2)車務概要 (3)工程概要 (4)機務概要 (5)其の他 に分ち民衆の啓蒙を目的として、著作したものである。各節の末尾に設問をなして、所説の習得を便にしてゐる。

鐵道部中華民國二十三年度行政計劃 鐵 道部 南京 36頁

業務、工務、財務、會計、總務、路警、鐵道法規及び年鑑 等の編訂整理各事項に關して、中央より各下級官廳への指示事項を述べたものである。

鐵道部中華民國二十四年度行政計劃 鐵 道部 南京 40頁

工務、業務、財務、會計 其の他の鐵道行政各事項に關して、中央の計劃を指示したものである。

鐵道部二十五年行政計劃 鐵道部 南 京 18頁

工務、財務及會計、業務、材料購置、鐵道除障 其の他鐵道行政の各事項 に關する中央の計劃を指示してゐる。

鐵道業務兩個月之整理工作 鐵道部業務 司長俞 棧 民國21年8月 四六版 130頁

著者が鐵道部業務司長に就任以來二個月間の所管事務の處理情況を述べたものである。

鐵道業務之整理及今後之方針 鐵道部業 務司長俞 棧 民國22年3月 四六 版42頁

著者が鐵道部業務司長として、その所管事務の處理情況及び今後の方針を述べたものである。

整理全國鐵路業務聯運計劃書 俞 棧 鐵道聯運處 民國22年8月 菊版 160頁

國內各鐵道間の業務上の緊密な連繫、運輸連絡の改善、運賃の統一、従事員の訓練向上 に關する論説

である。

鐵道業務聯運之來年計劃 鐵道部業務司 聯運司長俞 棧 民國22年12月 菊版 18頁

民國21年5月貨物負責運輸委員會を設けて、各鐵路間の連絡運輸を計つた。これは同22年中の連絡運輸の概況を述べ、更に23年に實行せんとする諸案を紹介したパンフットである

鐵道部實行負責運輸之成績 曾仲鳴 民 國22年4月 四六版 10頁

極めて簡単な鐵道の保證附運輸成績を述べたパンフットである。

國有鐵路勞工統計(第一種) 鐵道部總務 司勞工科 民國23年10月 四六倍版 127頁

鐵道從事労働者の各種統計を掲げたものである。

國有鐵路勞工統計(第二種) 鐵道部總務 司勞工科 民國24年11月 四六倍版 112頁

華北鐵路工人工資統計 劉心銓 四六倍 版 72頁

社會科學雜誌第四卷第三期に所載したものを單行本としたものである。

鐵道部職工教育委員會二十一年工作總報 告 四六倍版 338頁

民國21年5月鐵道部職工教育委員會が創設せられてから12月末に至る間の工作概況、會議録、各鐵路職工の概況 を述べてゐる。

各鐵路新生活運動聯席會議紀念特刊 民 國26年4月 四六版 103頁

鐵道部新生活運動促進委員會は民國23年11月に成立し、爾來各鐵路に於て其の工作に熱心なものがあつた。鐵道部長の命により同26年4月聯合會議を南京に於て開いた。本書はその紀念刊行物である。

鐵路警察大意 王祖岐 內務部編譯處 民國9年11月 四六倍版 144頁

鐵道警察の理論を略述したものである。

鐵道部鐵路警務會議彙刊 鐵路警務會議 辦事處 民國20年7月 四六倍版

542頁

民國20年7月南京鐵道部に於て鐵路警務會議を開き95の提出議案を審議した。其の記録及び各鐵路警務報告、公文書を纏めて本書とした。

鐵道直轄路警管理局鐵路警務會議錄 民國21年10月 四六倍版 230頁

民國21年9月南京鐵道部に鐵路警務會議を開いた。提出議案 156、之を10日間に亘つて審議した會議録である。

鐵道部職員錄(二册) 鐵道部 四六版

民國 25 年 10 月 17 日現在 138 頁
同 22 年 2 月 20 日現在 126 頁

全國鐵路職員錄(四册) 四六版

隴海鐵路 民國21年2月 308頁
粵漢鐵株簡段 同 25年1月 128頁
京滬滬杭甬綫 同 21年10月 332頁
津浦鐵路 同 26年2月 394頁

鐵展滙會講演集 鐵道部全國鐵路沿線出

產貨物展覽會 民國22年4月 菊版 82頁

鐵道部長顧孟餘・次長曾仲鳴以下各鐵道線路業務擔當者の講演速記と史料されるも、一般民衆の鐵道に關する智識研養に資する程度のものである。

鐵道部收文事由錄

民國 23 年 7 月・8 月・9 月。同 24 年 3 月・9 月・11 月・12 月。同 25 年 1 月・2 月・3 月・4 月・10 月・11 月。同 26 年 2 月。以上期間中の受入文書の處理始末を示してをる。

鐵道部發文事由錄

民國 23 年 8 月・9 月、同 24 年 7 月・8 月 同 25 年 1 月・3 月・9 月・10 月・11 月・12 月 以上期間中の發送文書の順末を示してをる。

鐵道部秘書廳一週間收發文事由錄

12月30日より1月4日迄の間の發出、受入文書の處理を表示したものなるが何年のものか不明である。

鐵道發達史

中國鐵路史 曾鯤化 北京 民國13年3月 菊版 954頁

支那鐵道の起源より民國12年末に至る國有、民營、外人經營の各鐵道に就き、その沿革を述べ、清朝時代の鐵道行政を詳述してをる。(1)緒論 (2)路政 (3)路線 の三編に分ち 卷頭に李鴻章・張之洞以下鐵道史に關係ある人物の肖像を掲げてをる。

中國鐵路史 謝 彬 上海中華書局 民國18年 12月 菊版 562頁

(1)緒論 (2)鐵道建設の沿革 より筆を起し、鐵道を利用して、外國の侵略し來れるを痛憤し、鐵道行政及び財政、既成・建設中、未成の各線に就て述べてをる。附録として孫文の鐵道建設計劃及び各線路聯名と里程表とを掲げてをる。

中國現代交通史 張心激 上海良友圖書公司 1921年8月 菊版 618頁

現代中國史叢書の一で鐵道に關しては第二編陸地交通の第二章鐵路(97-168頁)である。國營、省辦、民業、專用、中外合辦、外人經營、訂約未辦 の七節に亘つて述べてをるが内容は極めて平凡である。

鐵路管理 王成森・沈達宏 上海商務印書館 民國23年1月 四六版 122頁

商學小叢書の一で、支那鐵道の過去及び現在を略述してをる。一般鐵道に關する常識を説いたものである。

交通部直轄各鐵路民國二年興革事項表

交通部路政司編查科 北京 民國4年1月 四六版 176頁

京漢、京奉、津浦、滬寧、京張、張綏、正大、道清、汴洛、吉長、株萍、廣九の11鐵道に就て改善、新設の諸事項を表示してをる。

交通部直轄各鐵路民國五年興革事項表

交通部路政司 北京 民國7年8月 四六倍版 170頁

本書は民國2・3・4年興革事項表と對照して、之を繼續編輯したもので (1)總務 (2)運輸 (3)建築 (4)機械 に分ち新設改善した事項を逐條説明したものである。京漢、京奉、津浦、滬寧、京綏、正大、道清、汴洛、吉長、株萍、廣九、滬杭甬、廣三、漳廈 の14鐵道が包含されてをる。

改建鐵路交通芻議 民國17年7月 菊版 84頁

鐵道交通の建設、改善、普及 を説いたもので、特に

軍人の鐵道行政に干渉するを論難してをる。著者、發行所は明示してをない。

二十五年之鐵道 鐵道部 民國19年3月 菊版 16頁

最近25年間の支那の鐵道の變遷を説明したパンフレットである。

國民政府下之鐵道事業 民國19年1月 四六版 20頁

鐵道部成立の由來、主管事務の内部組織を説明したパンフレットである。

國民政府下之鐵道事業 鐵道部 和漢裝美濃刊 24頁

民國17年11月鐵道行政が交通部から分離して、創設の鐵道部に於て管理せらるゝに際しての記録である。その内容は極めて簡單で、單に行政機構の更改を述べたものである。

全國鐵路概要 (交通大學經濟學會叢書)

上海交通大學經濟學會 民國19年2月 菊版 140頁

民國15年發行の中國鐵路概要を改訂補修したものである。國有、民營、外人經營の各鐵道 に就て (1)沿革 (2)里程 (3)起工 (4)竣工 (5)資金關係 (6)營業狀況 を述べたものである。

中華民國國有鐵路工程狀況調查表 鐵道部工務司工程科 民國20年

各鐵路の灣曲、勾配、墜道、軌條、枕木 其の他に關する表である。

交通史路政編(第一册——第六册) 鐵道部交通部交通史編纂委員會 民國20年8月 四六倍版

交通史總務編に續くもので、全18册より成り専ら鐵道に關する事項を述べてをる。第1册より第6册迄は序文、凡例、目錄第一章總綱を掲げ建設、運輸、財政、渉外事項、監管民業事項の節に分つて詳述してをる。各册500頁乃至848頁で合計4000頁に達してをる。

交通史路政編(第七册——第十一册) 交通部鐵道部交通部交通史編纂委員會 民國20年8月 四六倍版

第7册より11册までは、國有鐵路既成線を扱ひ、京奉鐵路(578頁)、京漢鐵路(974頁)、京綏鐵路

(682頁)、津浦鐵路(797頁)、滬寧鐵路(952頁)、株萍鐵路(952頁)、滬杭甬鐵路(952頁) に就て述べてをる。

交通史路政編(第十二・第十三册) 交通部鐵道部交通部交通史編纂委員會 民國20年8月 四六倍版

上掲に引續き國有鐵路既成線に就て述べてをる。正太鐵路、吉長鐵路、廣九鐵路、(第12册778頁)、道清鐵路、廣三鐵路、膠濟鐵路、四洮鐵路、漳廈鐵路、南苑輕便路(第13册982頁)

交通史路政編(第十四册) 交通部鐵道部交通部交通史編纂委員會 民國20年8月 四六倍版 844頁

工事中の國有鐵路に就て述べてをる。(1)粵漢川鐵路 (2)隴・秦・豫・海鐵路 (3)滄石鐵路 (4)奉海鐵路 (5)洮昂鐵路 (6)呼海鐵路。

交通史路政編(第十五册) 交通部鐵道部交通部交通史編纂委員會 民國20年8月 四六倍版 944頁

計劃中の國有鐵路各線に就て述べてをる。(1)浦信鐵路 (2)同成鐵路 (3)欽渝鐵路 (4)甯湘鐵路 (5)沙興鐵路 (6)濱黑鐵路 (7)株欽鐵路 (8)吉會鐵路 (9)開海鐵路 (10)錦愛鐵路 (11)京熱鐵路 (12)長洮鐵路 (13)贛粵鐵路 (14)南衡鐵路 (15)漢西鐵路 (16)西昭鐵路 (17)包寧鐵路 (18)桂全鐵路 (19)桂邕鐵路 (20)漢桂鐵路 (21)瀋邕鐵路

交通史路政編(第十六册) 交通部鐵道部交通部交通史編纂委員會 民國20年8月 四六倍版 956頁

第五章として、民業鐵路各線に就て述べてをる。(1)川路 (2)湘路 (3)鄂路 (4)蘇路 (5)浙路 (6)皖路 (7)西漢鐵路 (8)同濟鐵路 (9)洛漢鐵路 (10)粵路 (11)新寧鐵路 (12)潮汕鐵路 (13)南沙鐵路 (14)雙城鐵路 (15)簡營鐵路 (16)龍溪鐵路 (17)東龍鐵路 (18)齊昂鐵路 (19)井富鐵路 (20)博山鐵路

交通史路政編(第十七册) 交通部鐵道部交通部交通史編纂委員會 民國20年8月 四六倍版 538頁

第六章は專用鐵路に就て以下の各線に亘る。(1)大治鐵路 (2)中興運煤鐵路 (3)江蘇寶汪鐵路 (4)

坨濟高機鐵路 (5) 湖南板橋鐵路 (6) 水口山鉛鋅礦鐵路 (7) 直隸濟堂鐵路 (8) 長興煤礦鐵路 (9) 大豐煤礦鐵路 (10) 直隸柳江鐵路 (11) 直隸通裕鐵路 (12) 直隸民興鐵路 (13) 裕繁織綢鐵路 (14) 怡立煤礦鐵路 (15) 寶昌煤礦高機鐵路 (16) 龍煙織綢鐵路 (17) 益華織綢鐵路 (18) 寶興織綢鐵路 (19) 其他各鐵路 更に第七章には中外合辦鐵路として、(1) 東省鐵路 (2) 天關輕便鐵路に就て述べてある。

**交通史路政編(第十八冊) 交通部鐵道部
交通史編纂委員會 民國20年8月
四六倍版 434頁**

第八章として外人承辦鐵路たる (1) 南滿洲鐵道 (2) 龍州鐵路 (3) 滇越鐵路 を挙げ、第九章は汽車路として、第一節西北汽車路以下第28節平遠縣路に至る28路線を挙げてある。以上の如く交通史路政編と云ふも第18冊第九章汽車路158頁を除く外は全部鐵道に関する記述で、鐵道敷設の起源より筆を起し沿革、建設、運輸、財政、海外事項 を述べたので、既成、建設中及び未設の各線を詳説し、鑛山專用、中外合辦、外人經營鐵路 に及んである。

**中國鐵路聯運之恢復與推進工作 鐵道部
聯運處長俞棣 民國22年4月 四六版
支那國有鐵道の連絡輸送は民國8年頃に始まり、其の後一紙一葉あつた。其の間の事情を述べたパンフットである。**

**交通史總務編(全五冊) 交通部鐵道部交
通史編纂委員會 民國25年10月 四
六倍版**

第一冊第一章官制 776頁 第二冊第二章財政 670頁 第三冊第三章教育 500頁 第四冊第四章海外事項 752頁 第五冊第五章庶政 502頁 交通部と鐵道部とが協同した支那交通史全書とも稱すべき叢書を刊行した。本書は以上の五冊を以て其の總務編としてある。

**中國鐵路問題論文集 金士宣 南京 交
通雜誌社 民國24年4月 菊版 370頁**

著者は鐵道業務に従事すること10餘年、其の間の經驗、研究の所得を各種雜誌に發表し、また講演會にて口演したものを集めて本書をなした。鐵路建設と整理、鐵路組織と管理、鐵路運輸と運價、東北及び西北鐵路交通問題及び附圖 を以て内容としている。京漢・粵漢・贛海 の幹線に関する記述はない。

鐵路問題討論集 沈奏廷 上海商務印書館

民國25年9月 菊版 228頁

(1) 鐵道貨物驛の設計と中國鐵道の改良を論ず (2) 中國鐵道貨物驛の貨車配車制度の改革私見 等30項に互つて、英米の鐵道經營方法を標榜として説いた支那鐵道の運行、經營の技術上の論考短篇集である。

**Better Communications. 交通部 1925年
四六版 31頁**

Being Proposals on Improvement and Re-organization of means of communications Submitted to Rehabilitation Conference Held in 1925. 民國14年交通部長葉恭綽より執行委員長宛の交通改善意見書である。

**中國鐵道便覽 鐵道部業務司 上海商務
印書館 民國23年3月 袖珍型 246
頁**

携帯用小冊子にして路政年表、鐵道部組織、路線、各鐵路管理局、各路設備、貨商須知、貨物負責聯運、旅客須知、旅客聯運須知、首都路綫輪渡、鐵路公路聯運、各路沿線著名物産一覽 其の他の項に分つてある。鐵道に関する百般の案内書である。

蘇杭甬鐵路權 和漢裝大判變型 210頁

光緒24年6月英國公使の山海關・牛莊間鐵道敷設に關する交渉より光緒33年11月蘇杭甬鐵路敷設契約成立迄の兩者間の往復交渉の文書を集めたものである。

山東問題說帖 四六倍版 18頁

支那が膠州租借地及び膠濟鐵路及び獨逸が山東省に於て有する權利の直接返還を要求する理由を述べたものである。膠州租借地の起源より日獨戰爭、21箇條要求、支那は何故に其の返還をまた何故に直接返還を要求するかを述べてある。著者、發行者の明示なきも、卷末に山東問題說帖讀和全權大使處刊行とある。

**鐵路統一問題全案源委之披露 林長民
四六倍版 36頁**

亞洲文明協會第七期時事旬刊に掲載したものを單行本としたもので、膠濟鐵路の返還問題を契機とする日支紛争のうち、鐵道に関する時事問題を主として取扱つてある。

鐵道法規

鐵路法規草案 三五倍版 108頁

交通部が鐵路法規會に命じて審議・可決せる鐵路法規草案なるも、編者、發行年月の明示なく、内容もた蕪雜である。民國9年頃の刊行ならんか。

**鐵道法規類編(上・下編) 鐵道部鐵道法
規編訂委員會 民國20年3月 四六
倍版 1014頁**

民國19年6月現在施行中の法規を分類編纂したもので、上編は432頁、國民政府及び鐵道部の制定公布したもののみを掲げてある。下編は各鐵路管理局が鐵道部長の裁可を経て公布したもので、582頁ある。

**鐵道法規類編上編(第一次追加冊) 鐵道
部鐵道法規編訂委員會 民國20年6月
四六倍版 248頁**

民國19年6月發行の鐵道法規類編で、上編は民國20年6月迄のものを追加せるものである。

**增訂鐵道法規彙編(全四冊) 鐵道部參事
廳 民國26年6月 四六倍版 536頁**

民國26年6月末現在施行中の鐵道に関する法規を集めたものである。法令、官制、官規、業務、財務、會計、統計、工務、材料、教育、道路、專載、12項に分類してある。第一冊 法令類、官制類、官規類(1050頁)、第二冊 業務類(上・下)(1142頁)、第三冊 財務類、會計類、統計類(1148頁)、第四冊 工務類、材料類、教育類、道路類、專載類(478頁)

**交通部制定國有鐵路工程車輛材料規則彙
編 民國11年11月 菊版**

民國11年11月交通部制定の工程、車輛、材料 關にする各般の規則書である。鐵路建築標準、鋼橋、鋼軌、機件、西門士 等13項目に互つて英・佛・支三國文にて重記してある。

**國營鐵路建築標準圖 頁民國25年 35葉
鐵道敷設に關する軌道、軌條の工事標準圖を示したもので、印刷紙片面刷四半裁變型である。**

**全國鐵路行車時刻票價里程表 鐵道部聯
運處 民國23年7月 菊版 92頁**

處理文書規則 北寧鐵路管理局 民國21

年8月 四六倍版 14頁

民國21年8月修正公布のもので全36條よりなつてゐる。外に書式、雛形64様式を附してある。

交通部制定國有鐵路行車規章(第二版)

民國11年11月 四六版 364頁

列車運行に關する規定を掲げてある。

**國有鐵路行車規章 民國17年1月 三五
版 350頁**

列車運行に關する各般の規定を述べたもので、支・英・佛三文併記である。

**中華民國鐵路客車運輸通則 民國18年1月
菊版 119頁**

英文“Chinese Railways General Regulations Relating Passenger Traffic”との合本である。

**中華民國鐵路貨車運輸通則(附貨車運輸
負責通則) 交通部路政司營業科 民
國11年11月 菊版 112頁**

**中華民國鐵路貨物運輸通則(第一版) 民
國24年10月 菊版 51頁**

**中華民國鐵路貨車運輸通則(第九版)
民國26年6月 四六版 62頁**

**中華民國鐵路貨車負責運輸通則(第三版)
民國21年7月 四六版 21頁**

**貨車負責運輸辦事細則 民國21年8月
菊版 81頁**

**鐵路負責貨物聯運暫行辦法 鐵道部聯運
處 民國22年11月 菊版 14頁**

附録として書類様式、雛形を挿入してある。

貨車負責運輸辦事細則附件 大判紙 8頁

貨物積卸に關する規定及び之に關する書類様式を示したパンフレットである。細則には鐵路雇用裝卸夫裝卸貨物辦法及び承辦裝卸鐵路貨物辦法を掲ぐ。

**中國鐵路管理車輛登記制度實施法 蔡殿
楯 四六倍版 50頁**

車輛の管理、配車、操車 に就て述べてある。卷末に各種書類用式、雛形を挿入してある。

國有鐵路車輛支配規則 民國24年9月

四六倍版 14頁

交通部規定鐵路列車汽車里程統計則例

交通部鐵路會計司 民國4年6月 四六版 12頁

統一鐵路會計委員會が民國4年1月議決したものである。佛・支兩文併記である。

國有鐵路及省有民有鐵路客貨雜車詳表

民國20年1月 菊倍版 178頁

現在使用中の客車、貨車其他車輛の名稱及び規格を示したものである。英・支兩文併記である。

中華民國鐵路列車及車輛調度通則

民國25年7月 菊版 46頁

車輛管理に關する各種書類様式を示してゐる。

國有鐵路材料分類編號名稱彙編草案

鐵道部籌備統一材料分類標準委員會

民國21年9月 印刷紙四半截 547頁

鐵道に使用する一切の機具及び之に關聯するもの、名稱を統一する爲め、其の名稱を英・支兩文にて示したものである。

中華民國鐵路貨物聯運會計章程

交通部鐵路

聯運事務處 民國9年7月 四六版

20頁

英文“Orders and Accounts Regulations in connection with Through Goods Traffic and Interchange of Rolling Stock”との合本である。

中華民國鐵路負責運輸單據表冊格式

鐵道の保證附運輸に關する各種書類様式、雛形を集めたものである。

鐵道軍運條例

菊版 10頁

軍事輸送に關する國民政府命令、民國19年6月3日公布、同年11月25日施行、同21年7月20日修正のものを掲げたパンフレットである。

車站司令處辦事規則

大判紙型 4頁

大判紙二枚騰寫版刷パンフレット。

中華民國鐵道行車統計車務人員應守規則

民國18年7月 四六版 74頁

英・支兩文併記である。

鐵路員工服務條例應行解釋事項

菊版

18頁

鐵道従事員の服務規定を解釋したパンフレット。

鐵道部路警規章彙編

鐵道部運轄路警管理局 民國24年11月 四六倍版 312頁

民國24年10月末現在公布施行中のものを考成、待遇、教育、司法、勤務、防務、消防、服械、衛生、検査、禁煙、禁毒、會計、交代、雜錄の15類に分つて載せてゐる。

聯絡運輸

中華民國鐵路第一次行車時刻表會議議事

錄 勝寫刷 41頁

民國18年9月南京に於て列車時刻表委員會を開き列車連絡に關して、浦口・北京・奉天間の連絡機構を整備した。西比利亞經由歐亞連絡旅客の發集を主張してゐる。英・支兩文併記である。

全國鐵路運輸會議記錄(第一次運輸會議)

民國25年6月 四六倍版 588頁

第一次全國鐵路運輸會議は民國7年6月北京交通部に於て開いた。議案は旅客、貨物車輛其他の事項に關する四部類に分つて討論審議してゐる。

全國鐵路運輸會議記錄(自第二次至第六次會議)

民國25年6月 四六倍版

550頁

第二次運輸會議を民國9年4月、第三次を同10年5月、第4次を同11年4月、第五次を同12年4月、第六次を同14年9月何れも北京に於て開いた。以上會議記錄を纏めて一冊としたもの即ち本書である。

全國鐵路運輸會議記錄(第七・八次會議)

民國25年6月 四六倍版 348頁

第七次運輸會議は民國17年10月南京交通部に於て第八次は同20年6月南京鐵道部に於て開いた。第七次會議は提出議案45、第八次會議は提出議案161である。

鐵道部第九次全國鐵路運輸會議彙編(下冊)

民國24年5月 四六倍版 560頁

民國24年5月南京鐵道部に於て第九次運輸會議を開いた。提出議案209、之が審議内容を述べてゐる。

國內聯運會議記錄(二冊)

鐵道部聯運處 民國22年9月 四六倍版

民國22年9月南京に於て第十六次國內鐵道連絡會議

を開いた。議案156の内99を可決した。(第十六次318頁)

民國23年9月青島に於て第十七次國內鐵道連絡會議を開いた。提出議案247、内160を可決した。(第十七次298頁)

第十八次聯運會計會議記錄

鐵道部聯運處 民國22年9月 三五倍版 36頁

民國22年9月南京に於て第十八次國內鐵道連絡に關する會計會議を開いた。提出議案31全部を可決した。

中華民國鐵路國內聯運規章

交通部鐵路

聯運事務處 民國17年5月 四六版

362頁

英文“Chinese Government Railways, Rules and Regulations in connection with Domestic Through Traffic”と合して本書とした。

中華民國鐵路國內聯運規章(第五版)

鐵道部聯運處 民國25年11月 菊版

285頁

第一版は民國17年5月の編輯である。第五版は鐵道聯絡會議の議事規定より旅客貨物の連絡運輸に關する規定一切を含んでゐる。

全國鐵路商運會議彙刊

全國鐵路商運會議辦事處 民國20年

10月 四六倍版 312頁

民國12年3月南京に於て全國鐵路商運會議を開いた。本書は其の記錄にして(1)總裁(2)議案(3)會議記錄(4)附錄に分れ其の提出議案186中126を可決した。

第一次華北旅客聯運會議記錄

交通部鐵路

聯運事務處 民國11年9月 四六

倍版 14頁

英文“North China Through Passenger Traffic Minutes of First Conference-Peking September 15th 18th, 1922”と合本した。

華北旅客聯運規章彙覽

交通部鐵路聯運

事務處 民國15年1月 四六版

26頁

英文“North China Through Traffic Regulations”とを合本とした。

亞美聯運會議記錄合同草案

鐵道部聯運

處 民國17年9月 菊版 66頁

英文“The Protocol of the Asia—America Through Traffic Conference, 1928”とを合本とした。

中日鐵路聯運會議協定書(自第一次至第

十四次) 交通部鐵路聯運事務處

1913年12月東京に於て第一次日支鐵道連絡會議を開いた。第二次を1914年東京に於て第三次を1915年4月北京に於て屢次會議を開いた。其の第十四次を1926年5月東京に於て開いた。本書はこれらの協定書14冊を一括としたものである。

第十五次中日聯運會議協定書

鐵道部聯運處 民國20年3月 四六倍版

80頁

第十五回日支鐵道連絡會議を民國20年3月東京に於て開催した。其の情況及び協定事項を一書にしたものである。

The Protocol of the First China-Japan-

America Through Traffic Conference,

1918. 交通部國際聯運委員會 1918

年 菊版 85頁

中・日・米聯運會第一議定書である。支文40頁を附してゐる。

中華民國鐵路與日本郵船會社及日清汽船

會社訂立發售取道上海之中日聯運單

程客票契約 菊版 14頁

英文“China-Japan Through Single Ticket Via Shanghai. The Contract concluded between the Railway and steamer lines Contract”とを合本としたものである。

中國北部周遊票發售合同(乙)鐵路與日清

汽船會社訂立合同 菊版 9頁

英文“North China Circular Tour (B) The contract concluded with the Nisshin Kisen Kaisha”とを合本としたものである。

中華民國鐵路暨東省鐵路經由南滿鐵道旅

客聯運規定彙覽 交通部鐵路聯運事

務處 民國15年1月 四六版 26頁

英文“Chines Government Railways Chinese Eastern Railway Through Passenger Traffic Via South Manchuria Railway Through Traffic Regulations”とを合本としたものである。

中日聯運規章彙覽 交通部鐵路聯運事務

處 民國17年3月 四六版 216頁

日本鐵道省・朝鮮總督府鐵道局・南滿洲鐵道株式會社及び支那國有鐵路間の旅客及び貨物連絡輸送に關する申合せ項を掲げたものである。

中日聯運規章彙覽 (第八版) 鐵道部聯

運處 民國20年8月 四六版 230頁

中國國有鐵路與南滿鐵道旅客聯運會議記

錄 交通部鐵路聯運事務處 四六倍版

支那國有鐵路及び東支鐵道と南滿洲鐵道との旅客連絡會議は第一回を民國10年10月北京に、第二回を同12年4月北京に、第三回を同14年10月天津に於て開催した。支那各主要鐵路、東支、南滿洲鐵道より夫々代表者を派遣して、討議協定したものである。

Protocol of The First Chinese Government

Railways South Manchuria Railway Through Goods Traffic Conference.

1926年10月 四六倍版 70頁

1926年奉天に於て支那國有鐵道と南滿洲鐵道會社との間に貨物の連絡運輸會議が開かれた。本書は其の英文協定書である。

第一次中華國有鐵路南滿鐵道間貨物聯運

會議協定書 交通部鐵路聯運事務處 民國15年10月 四六倍變型 44頁

民國15年10月奉天に於て開かれた、南滿洲鐵道會社と支那國有鐵道間の貨物連絡運輸に關する協定書である。

中國國有鐵路中日旅客聯運價目表 交通

部鐵路聯運事務處 民國13年1月 菊倍版 205頁

中日旅客聯運中東經由南滿鐵道旅客聯運

華北旅客聯運價目表彙編 鐵道部聯運處 民國20年10月 四六版 159頁

民國20年1月より施行のものである。

中華民國鐵路旅客聯運票價表 鐵道部聯

運處 41頁

民國19年6月1日より適用の各鐵路連絡切符運賃表に

て、英・支兩文併記である。謄寫版刷、大型用箋紙である。

中華民國鐵路旅客聯運票價表彙編 (第

四版) 鐵道部聯運處 民國23年6月 四六版 219頁

中華民國鐵路旅客聯運票價表彙編 (第

六版) 鐵道部聯運處 民國26年7月 菊版 148頁

中華民國鐵路貨物聯運運價表彙編 (第

二版) 鐵道部聯運處 民國24年4月 四六版 290頁

各鐵路の貨物連絡輸送運賃表を集めたものである。

京滬・滬杭角・津浦鐵路負責貨物聯運暫行

辦法 民國21年10月 四六版 9頁

貨 率

最近三年鐵路減低運價述略 鐵道部業務

司長兼聯運司長 俞 棧 民國24年6月 菊版 38頁

民國21年6月より同23年6月に至る間の鐵道運賃減額の状況を略述したものである。

鐵路貨等運價之研究 吳紹曾 京滬滬杭

甬鐵路管理局 民國25年10月 菊版 368頁

民國22年7月京滬滬杭甬鐵路管理局内に貨等運價研究委員會を設立し、隔週一回開議討論した。其の結果を纏めたるもの即ち本書である。鐵道運賃の裁定方法、政策に就き論述してゐる。

貨等運價委員會案卷 (第一卷) 謄寫刷

37頁

鐵道部管理司長より部長宛の貨等運價委員會設置建議書(民國7年12月)。

部長の許可書、部長の委員會組織命令書、準備委員會の會議記錄を一書に集めたものである。

貨等運價委員會案卷 (第二卷) 謄寫刷

104頁

民國18年6月開催の貨等運價委員會第二次審查會議記錄にして英・支兩文併記である。

貨等運價委員會案卷 (第三卷) 印刷紙

四半截 128頁

第二卷に附屬するものにて、各種貨物の分類及び運賃表を掲げてゐる。英・佛・支三國文併記である。

貨等運價委員會案卷 (第四卷) 謄寫刷

26頁

委員會議案にして運輸法、旅客運賃、旅客規定、貨物運賃、貨物運輸規則、運賃類別規定を掲げてゐる。英・支兩文併記である。

貨等運價委員會案卷 (第五卷) 印刷紙

四半截 28頁

民國18年8月南京鐵道部に於て開催の本會會議記錄にして英・支兩文併記である。

中華民國鐵路普通貨物分等表 (第五版)

鐵道部 民國20年6月 菊版 185頁

中華民國鐵路普通貨物分等表 (第六版)

民國23年11月 菊版 159頁

鐵 道 統 計

郵傳部第一次路政統計表 (光緒33年分

上・下二卷) 郵傳部 和漢裝 上卷164頁 下卷212頁

京漢、京奉、滬寧、正太、京張、汴洛、廣九、萍昭、道清、潮汕、甯甯、浙江、粵漢、川漢、江西、安徽、福建、江蘇、同蒲、洛潼、瀋蘭、騰越各鐵路の沿革概略を述べ、其の經營成績に關する各種統計表を掲げてゐる。其の方式は舊來の漢字立書式にて閱讀に不便である。

郵傳部の編纂せるものと思料さるゝもこれを明示するものはない。

郵傳部第二次交通統計表 (卷四 路政

上・卷五 路政下) 和漢裝 上卷214頁 下卷182頁

光緒34年分各鐵路經營成績の統計表にして、第一次路政統計表に繼續するものである。其の内容、外装は第一次路政統計表と全然同一にしてゐる。

中華民國元年交通部統計圖表 交通部統

計科 民國7年5月 四六倍版 336頁

路政、電政、郵政、航政の四部分に分れてゐる。路政部は即ち鐵道に關するものである。之を紀要、統計圖、統計表の三に分ち、京漢、京奉、津浦、滬寧、京張、正太、道清、汴洛、廣九、吉長、張綏、株萍の12線に就き營業成績、其の他の統計を掲げてゐる。

交通部統計圖表彙編 (民國2年至民國5

年) 交通部統計科 民國8年5月 四六倍版 270頁

路政、電政、郵政、航政、の四に分るゝこと前者と同じである。更に路政の部(50頁)は紀要、統計圖、統計表の三に分つて述べてゐることも同じである。

交通部統計表彙編 (民國6年至8年)

交通部統計科 民國10年2月 四六倍版 257頁

路政、電政、郵政、航政の四に分れてゐる。路政(96頁)は即ち鐵道行政にして、之を紀要、統計圖、統計表に分つて説述してゐる。

交通部統計圖表 (民國9年) 交通部統

計科 民國12年1月 四六倍版 382頁

路政、電政、郵政、航政のうち路政(174頁)は鐵道行政に關するものである。

交通部統計圖表 (三册) 交通部統計科

四六倍版

民國10年分384頁(内、路政部175頁)同11年分375頁(内、路政部160頁)同12年分384頁(内、路政部173頁)何れも路政、電政、郵政、航政の四部分に分れてゐる。路政は即ち鐵道行政である。尙同12年以後は政治上の一大變革があつて、本統計圖表の刊行も中断してゐる。

行政院鐵道部二十六年五月份工作報告

鐵道部 28頁

法令、主管事務の進行、計劃、主管事務に關係ある各事項について述べてゐる。美濃紙大判型である。

鐵 道 會 計

鐵路會計學 李懋勛 上海商務印書館

民國13年7月 四六版 333頁

應用會計學としての鐵路會計の基本原理解及び處理方法を説いてゐる。序文のうち業華轉は8頁に互つて

支那鐵道の經營實情、會計の紊亂を慨嘆してゐる。

中國鐵路會計之資產折舊問題 吳英豪

民國24年4月 四六版 78頁

支那鐵道會計に於ける資產償却を説いたものである。

鐵道部直轄國有鐵路編制概算及執行預算

暫行規程 四六倍版 35頁

法規の列舉にして卷末に各種計算書様式を挿入してゐる。

交通部國有鐵路會計統計總報告 (拾二册)

交通部路政司 菊倍版

民國4年上半期 46頁、同 4年及 同 4年下半期 120頁、同 7年分 206頁、同 8年分 220頁、同 9年分 212頁、同 10年分 196頁、同 11年分 204頁、同 12年分 205頁、同 13年分 202頁、同 14年分 195頁、同 15年分 71頁、同 16年分 70頁

中華國有鐵路會計統計總報告 (民國16

年分) 鐵道部統計處 民國19年10

月大型 70頁

各鐵路の營業成績を鐵道部統計處長より部長宛報告せるものにして、全文、英・支兩國文にて併記してゐる。

平漢、北寧、津浦、京滬、滬杭甬、平綏、正太、道清、吉長、廣九、湘鄂、四洮、膠濟、南潯 14線を包含し、龍海、汴洛 2線は統計材料入手不可能なりし爲め之を含んでゐない。

中華國有鐵路會計統計總報告(九册) 鐵

道部總務司統計科 和漢裝 菊倍版

年 度	說 文	統 計 表	合 計 頁 數
民國17年分	68頁	32頁	100頁
同 18年分	42頁	40頁	82頁
同 19年分	38頁	32頁	70頁
同 20年分	37頁	32頁	69頁
同 21年分	104頁	122頁	226頁
同 21年分續編	—	—	106頁
同 22年分	130頁	140頁	270頁
同 22年分續編	—	—	116頁
同 23年(1月至6月)24頁	89頁	113頁	

右のうち續編二冊は何れも貨物分等運輸統計を掲げてゐる。

中華國有鐵路統計總報告 鐵道部總務司

統計課 大型 238頁

民國21年1月1日より12月31日に至る一ケ年間の平漢、北寧、津浦、京滬、滬杭甬、平綏、正太、道清、汴洛、龍海、廣九、湘鄂、膠濟、南潯の14鐵道に關する諸統計を掲げてゐる。但し、北寧線の山海關以東は日本に占領せられてゐるを以て、同線は關内のみを掲げてゐる。

中華國有鐵路統計報告(二册)鐵道部秘書

廳研究室 和漢裝 菊倍版

民國23年分 說文 103頁 統計表 114頁、同 24年分 說文 112頁 統計表 167頁 從前の中華國有鐵路會計統計總報告を改題したものである。編纂者も變更してゐるが、其の内容形式は前者と同じである。

統一鐵路會計委員會議事錄(二年至三年)

民國22年6月 四六倍版 244頁

民國2年11月北京交通部に於て第一回鐵路會計委員會を開き、第二回會議を同 3年2月北京交通部にて開いた。以上二回の會議紀錄である。

民國四年至十四年統一鐵路會計常務委員

會會議紀錄 民國24年4月 四六倍

版 670頁

統一鐵路會計常務委員會第一回會議は民國4年12月第二回は同 6年11月、第三回は同 7年10月、第四回は同 8年2月、第五回は同 8年10月、第六回は同 9年5月、第七回は同 9年10月、第八回は同 11年9月、第九回は同 12年9月、第十回は同 14年5月夫々召集開催した。其の議事錄及び附屬文書を纏めたもの即ち本書である。

統一鐵道會計委員會案卷(第一卷—第五卷)

謄寫刷

本會常務委員會は民國18年6月7日に開いた。第一卷44頁は本會の諸規制、法令 を掲げ、第二卷74頁は各種議案、第三卷は追加議案及び議事記録 第四卷は委員會議事記録及び統計處規則 101頁、第五卷67頁は議事記録、軍事輸送帳簿處理法を議した。全卷英・支兩國文併記である。

鐵道部統一會計統計委員會第三屆大會案

卷 民國22年9月 四六倍版

統計委員會第三屆大會の準備會議は民國22年2月、本會議は同 22年9月南京に於て開いた。會合すること9日間提出案件188、うち總元帳に關するもの72件、各驛帳簿に關するもの70件、預算決算に關する

もの18件、統計年報に關するもの19件、材料處理に關するもの9件である。

交通部規定歲計帳盈虧帳盈虧撥補帳則例

交通部鐵路會計司 民國11年11月

四六版 41頁

鐵道會計の收入支出勘定、差引勘定、差引補額勘定に關する規定にして、佛・支兩國文併記である。

交通部規定鐵路營業用款分類則例 交通

部鐵路會計司 民國14年1月 四六

版 140頁

鐵道管理經營に關する會計處理法にして、佛・支兩國文併記である。

鐵路營業用款分類則例(第六版) 民國19

年1月 四六版 143頁

英文“Classification of Operating Expenses”と併記。

交通部規定鐵路營業進款分類則例 交通

部會計司 民國3年11月 四六版

46頁

民國3年11月統一鐵路會計委員會が鐵道收入に關する會計處理法に就き議決したものである。佛・支兩國文併記である。

鐵路營業進款分類則例(第六版) 民國18

年6月 四六版 38頁

英・支兩國文併記である。

鐵路營業用款分類則例(第八版) 民國24

年7月 四六版 122頁

交通部規定鐵路總平準表分類則例 交通

部鐵路會計司 民國4年4月 四六版

29頁

民國3年10月統一鐵路會計委員會が議決したる鐵道會計總勘定に關する處理法である。支・佛兩國文併記である。

鐵路總平準表分類則例(第九版) 民國24

年7月 四六版 24頁

各鐵路の資產負債表、貸借對照表 作成に關する規定を述べてゐる。

鐵道部購料委員會經購材料統計 (民國二

十三年七月至十二月) 鐵道部經購委

員會 民國24年 印刷紙四半載 151葉

北寧、津浦、平漢、膠濟、京滬、平綏、龍海、滬杭甬、道清の9鐵道の諸材料購入の統計表である。表中屢々單位名目例へば金額の弗・元・磅又は量目の封度、斤 等を明示せざるものがある。

鐵路部購料委員會經購材料統計 (民國二

十五年七月至十二月) 鐵道部購料委

員會 民國25年 印刷紙四半載 103

葉

京滬、滬杭甬、平漢、平綏、龍海、膠濟、津浦、北寧、正太、湘鄂、道清、南潯の各線の所要材料購入統計表である。

鐵路部購料委員會經購材料統計 (民國二

十五年一月至六月) 鐵道部購料委員

會 民國25年 印刷紙四半載 123

葉

平漢、北寧、津浦、京滬、滬杭甬、膠濟、龍海、平綏、正太、湘鄂、南潯の各線の材料購入統計表である。

交通部規定鐵路材料賬目則例 民國10年

10月 四六版 48頁

英文“Chinese Government Railway Store Accounts Manual”にして、即ち各種材料に關する會計處理法である。英・支兩國文併記である。

鐵路材料賬目則例 民國24年10月 四六

版 42頁

各種帳簿用式體形を挿入してゐる。

鐵路材料賬目則例 民國26年2月 四六

倍版 10頁

帳簿樣式體形を挿入してゐる。

Chinese Government Railways Construction

Accounts Manual. 1921年11月 四六

版 64頁

鐵道建設に關する材料購入費、人件費 等の會計處理法にして、全文英語である。

鐵路資本支出分類則例 交通部鐵路會計

司 民國3年7月 四六版 113頁

民國3年5月統一鐵路會計委員會にて議決した鐵道會計に關する規定を掲げてゐる。支・佛兩國文併記である。

國民政府鐵道部規定鐵路資本支出分類則例(第八版) 民國24年7月 四六版 68頁

交通部規定營業鐵路處理新設展長路線及擴充改良路產會計則例 交通部會計司 民國4年3月 四六版 15頁

民國3年10月統一鐵路會計委員會が議決した鐵道運營、路線の新設、延長、改良に關する會計處理法である。佛・支兩文併記である。

北 甯 鐵 道

京奉鐵路旅行指南 京奉鐵路管理局總務處編查課 民國13年8月 四六版 318頁

京奉鐵路の略史、旅客運輸諸規定及び北京より奉天に至る各驛の案内記を掲げてゐる。附録として全線地圖、旅客運賃、列車時刻表がある。

北甯鐵路英文合同彙編 民國19年 菊版 496頁

英文 "The English Agreement of P.N.R." にして、北甯鐵路に關係ある各種契約を英・支兩文にて示してゐる。

北甯鐵路商務會議彙刊 北甯鐵路局 民國19年5月 四六倍版 402頁

民國18年12月天津に於て、北甯鐵路沿線各實業團體代表137名及び鐵路當局、關係官民會合し鐵路を利用して、商工業の繁榮を計らんことを議した會議録にて辯言、公文書、議案、記事録及び演説、言論界の批評を掲げてゐる。附録として中華鐵路商務協進會成立の顛末をも述べてゐる。

京奉鐵路報告册(中華民國元年) 四六倍版 84頁

北支那皇家鐵路(The Imperial Railway of North China)を民國成立と共に中華民國國有京奉鐵路と改名せしが、其の經營管理は依然變化なく、北京に於ける交通部の監督下にある。其の成績報告書にして英・支兩文併記である。

京奉鐵路報告册(中華民國二年上半年) 四六倍版 74頁

民國2年1月より6月末に至る6ヶ月間の營業成績

を掲げてゐる。支文47頁、英文27頁の合冊である。

京奉鐵路報告册(中華民國四年) 四六倍版 20頁

民國4年1月より12月末に至る一ヶ年間の營業成績報告書で英・支文併記である。

京奉鐵路報告册(中華民國五年) 四六倍版 20頁

京奉鐵路報告册(中華民國七年) 四六倍版 20頁

京奉鐵路報告册(中華民國八年) 四六倍版 20頁

京奉鐵路報告册(中華民國九年) 四六倍版 20頁

京奉鐵路報告册(中華民國十年) 四六倍版 20頁

京奉鐵路報告册(中華民國十一年) 四六倍版 41頁

京奉鐵路報告册(中華民國十二年) 四六倍版 41頁

京奉鐵路報告册(中華民國十三年) 四六倍版 41頁

京奉鐵路報告册(中華民國十四年) 四六倍版 41頁

京奉鐵路報告册(中華民國十五年) 四六倍版 41頁

北甯鐵路會計統計年報(二册) 民國20年分 64頁、同21年分 66頁、英・支兩文併記である。

中華國有鐵路北甯綫貨物運賃表 民國20年1月 四六版 67頁

民國20年1月より施行のものである。

北甯鐵路工會工作總報告 北甯鐵路工會理事會 菊版 136頁

(1)插圖 (2)法規 (3)工作綱要 (4)20年度本會工作概況 (5)各種會議紀要 (6)重要文件 (7)表解に分つて、民國20年8月より12月に至る5ヶ月間の工會工作情況を述べてゐる。

津 浦 鐵 道

津浦鐵路法規彙編(上・下冊) 津浦鐵路管理局 民國26年7月 四六倍版

民國26年4月現在、施行中の津浦鐵路に適用する法規を集めたもので、之を29項に分つて掲げてゐる。上册はに法令、組織、會議、文書、任用、服制、服務、養成、待遇、材料、產業、衛生、合作、教育、圖書、行車の16項目を載せてゐる。下册は電訊、客運、貨運、聯運、軍運、公運、港務、工程、機車、會計、統計、警務、雜項の13項目を載せてゐる。

津浦鐵路旅行指南 津浦鐵路局總務處 民國19年 四六版 360頁

津浦鐵路の略史、運輸規則、他線との連絡規則、日支旅客連絡規則の沿革を記載し、沿線各地の風物案内として、南京より天津に至る各驛の概要を述べてゐる。附録には地圖、列車發着時間表、旅客運賃表がある。

津浦鐵路局過去半年間之工作 津浦鐵路管理局 民國18年5月 菊版 67頁

國有鐵路津浦綫會計統計年報(二册) 津浦鐵路管理局 四半截版 民國18年分 77頁、同20年分 71頁

津浦鐵路局兩年來之工作概要 民國23年8月 菊版 44頁

民國21・22年の津浦鐵路の工作大略を述べてゐる。

津浦鐵路管理材料程序 民國26年5月 菊版 72頁

津浦鐵路の材料管理方法を説けるもので、説文27頁、外に多數の書類様式雛形を挿入してゐる。

中華國有鐵路津浦綫貨車運輸附則(附普通運價表及專價表) 民國13年1月 菊版 50頁

英・支兩文併記である。

中華國有鐵路津浦綫貨車運輸附則(附普通運價表及專價表) 民國14年1月 菊版 52頁

英・支文併記である。

津浦鐵路貨物運輸附則暨運價表 津浦鐵路管理局車務處 民國25年 民國25年4月より施行のものである。

津浦鐵路貨車運輸價目表 津浦鐵路管理委員會車務處 菊版 69頁 民國22年11月より施行のものである。

津浦鐵路黨務報告 中國國民黨津浦鐵路特派員 民國24年11月 四六倍版 110頁

本鐵路従業員間に國民黨精神を鼓吹し、其の組織、宣傳、民衆運動、一般各工作に就て述べてゐる。

津浦鐵路黨員職工幹部訓練班紀事集 國民黨津浦鐵路特別黨部 民國26年2月 四六版 106頁

國民黨は民國25年以來國民一般に軍事訓練を強行せしが、本書はその津浦鐵路従業員に對する訓練狀況を述べたものである。

平 漢 鐵 道

京漢鐵路之現在及將來 關廣麟 京漢鐵路管理局 民國3年2月 四六倍版 204頁

辛亥革命前後の數年間は、京漢鐵道の業態最も惡化して其の運營を危ぶまれたつゝあつた。其の際之が打開策は當路者の一大懸案となつた。全國鐵路協會が北京に於て成立するや、其の機關誌に民國元年11月より2年10月に亘つて、連續所載の論文を纏め、更に之に加筆、補正したのが本書である。

平漢鐵路年鑑(民國二十一年) 平漢鐵路管理委員會 民國21年11月 菊版 694頁

巻頭に孫文・顧孟餘以下本鐵路關係者の肖像を掲げ、次に漢口・北平及び沿線の名勝圖を挿入してゐる。全編を(1)總務(2)車務(3)工務(4)機務(5)會計(6)結論(7)附録に分ち、民國元年より20年に至る各種統計表を掲げ、附録には同21年上半期の營業工作概況を述べてゐる。

平漢鐵路調查報告 國民黨平漢鐵路特別黨部 民國24年5月 四六倍版 264頁

(1)修築と管理 (2)工員と組織 (3)設備と營業
(4)物産と交通 (5)社會と教育 (6)警備と秩序
よりなつてゐる。民國4年より23年に至る20ヶ個年
間の年別統計表を掲げてゐる。

平漢鐵路旅行指南 平漢鐵路管理局總務
處編查課 民國22年1月 四六版
404頁

平漢鐵路的沿革、國有鐵路客車運輸通則、各線との
連絡運輸 其の他に關する規定を掲げてゐる。全線
地圖、旅客運賃表、列車時刻表 を挿入してゐる。
漢口より北京に至る各驛の案内記である。

平漢工務處統計年報 (民國二十年) 平
漢鐵路統計編輯部 民國21年5月
四六版 150頁

本線敷設以來三十餘年、始めて年報を公刊した。(1)
工務紀錄統計 (2)枕木統計 (3)軌軌統計 (4)軌
道配件統計 (5)改修統計 (6)材料統計 (7)林務
統計 (8)水災損失統計 (9)軍事損失統計 (10)匪
患損失統計 (11)物品被竊統計 (12)行車事變統計
(13)人事統計 (14)計劃 (15)結論に分つて圖表解
説してゐる。

平漢鐵路二十一年工作報告 (附四年整
理計劃) 四六版 128頁

總務、車務、工務、機關、會計、警務 の六部分に
分、ち本路特別黨部正式の成立より筆を起し過去民
國21年の平漢鐵路的業績を述べてゐる。

平漢鐵路會計統計年報 (五冊) 平漢鐵
路局 菊倍版

(1)民國8年分 51頁 (2)同9年分 55頁 (3)同10
年分 57頁 (4)同14年分 55頁 以上佛・支兩文
併記である。(5)民國18年分 71頁 英・支兩文
併記である

交通部直轄京漢鐵路局營業式覽 京漢鐵
路局調查處 民國元年12月 四六倍
變型 22葉

各種統計圖表にして説述はない。

京漢鐵路規章彙覽 (第一編通則三)
132頁

中華國有鐵路平漢綫汽車客貨車全圖 平
漢鐵路局

平漢鐵路的汽關車、客車、貨車 の青寫眞67枚にて

説明は佛文である。

中華國有鐵路平漢綫客貨車運輸附則 民
國21年5月 菊版 172頁

本附則は民國18年編印したものである。其の後變
更、修正したものを茲に公刊したのである。

平 包 鐵 道

京張鐵路工程紀略 中華工程師學會 民
國4年12月 四六倍版 158頁

北平張家口鐵道の工事概要書にして、敘説より總
綱、路線、軌道、土石、橋工、涵溝、山洞、房廠、
水塔、栽種、京門枝路、鷓鴣山煤礦枝路の各項に分
つて説いてゐる。

中華國有鐵路京綫綫建置紀略 民國10年
9月 菊版 28頁

交通部直轄、京綫鐵路管理局民國10年9月20日全機
通車紀念贈品として、作成せるもので巻頭に徐世
昌大總統以下鐵道關係諸員の肖像を掲げてゐる。沿
革、工事經過、位置及び地圖、類別組織、營業豫想
成績 所有車輛、沿線の風物、各驛名一覽表、沿線
產物 に就ての案内記事載せてゐる。

京綫鐵路旅行指南 京綫鐵路管理局編查
課 民國7年1月 四六版 208頁

京綫鐵路起源から其の略史を述べ、鐵路運輸章程の
沿革を掲げてゐる。北京より大同に至る各驛の案内
記である。

附録として全線地圖、列車時刻表、旅客運賃表 を
掲げてゐる。

平 綫 (第一冊) 平綫鐵路管理局 四
倍六版

民國22年7月1日より23年6月末に至る一ヶ年間の
經營、運行情況 を述べてゐる。挿入の諸種統計圖
表は民國13年以降22年迄10ヶ年間のものである。

平綫鐵路會計統計年報 (五冊)

(1)民國17年分 76頁 (2)同21年分 174頁
(3)民國23年分 (23年7月至24年6月) 201頁 (4)同
23年上半期 (1月—6月) 177頁 (5)同24年分(23年
7月至24年6月) 134頁

京綫鐵路貨車運輸附則 (第三冊) 京綫
鐵路局 菊版 26頁

民國13年1月より施行のものである。

平綫鐵路貨商須知 平綫鐵路車務處 民
國24年1月 四六版 58頁

平綫鐵路的貨物運輸に關する一般荷主に對する案
内書である。

京綫鐵路規章匯覽 (下冊) 京綫鐵路管
理局編查課 民國7年 菊版 602頁

包寧鐵路建設與計劃 卓宏謀 民國22年
10月 菊版 160頁

包頭・寧夏間540軒の鐵道敷設計劃を説いたもの
で、所謂西北地方開發の鐵道幹線たらしめんとする
各種敷設計劃を述べてゐる。工事の概要は包頭縣一
の五原縣(包五段) 五原縣の—噶口(五噶段)
噶口—寧夏(噶寧段)の三區に分つて説明してゐる。

膠 濟 鐵 道

膠濟鐵路調查報告彙編 (全八冊) 膠濟
鐵路管理委員會 民國22年12月 和
漢裝大判變型

膠濟鐵路管理局が民國21年夏より膠濟鐵路沿線を主
とする山東省内地域に亘り一箇年餘を費して、經濟
調査をなしたる報告書が即ち本書である。全八冊、
最初の上・下二冊は山東全省の地理、人口、農業、
鑛業、工業、商業、漁鹽、交通、社會 に就て述べ
てゐる。一より六に至る六冊は、青島の外2市64縣
に關する地方誌である。

膠濟鐵路旅行指南 膠濟鐵路管理局總務
處編查課 民國23年8月 三五版
286頁

膠濟鐵路的沿革及び旅客運輸に關する諸規定、日支
旅客連絡に關する規定 を掲げてゐる。次いで青島
より濟南に至る各驛 の案内記がある。巻末に本支
列車時刻表、旅客運賃表及び青島より各地に至る乘
合自動車の賃金表を附してゐる。

膠濟鐵路會計年報 (七冊) 膠濟鐵路管
理局 菊倍版

膠濟鐵路管理局の年次營業報告にして、英・支兩文
併記。巻末に地圖を附してゐる。同12年分 65頁
同13年分 72頁、同15年分 68頁、同16年分 72頁
同17年分 64頁、同18年分 119頁、同20年分194頁

膠濟鐵路運輸統計年報 (三冊) 膠濟鐵

路管理局車務處 菊倍版橫假綴

民國17年分は 同18年4月、同19年分は 同21年5
月、同23年分は 同25年3月發行してゐる。

膠濟鐵路各站年報 和漢裝大判變型 42
0頁

膠濟鐵路各停車場の民國20年度の現在情況、營業成
績、沿線各地の地理、社會、政治、經濟事情 を述
べてゐる。本鐵路管理當局の編纂せるものならんも
何等の明示はしてない。

膠濟鐵路接收六週紀要 四六版 69頁

概論、總務、工務、車務、警務、計劃の六章に分つ
て述べてゐる。

膠濟鐵路接收八週紀要 四六版 100頁

黨務、總務、車務、工務、機務、會計、材料軍事損
失、計劃償還、國庫債券辦法、附録の10項に分つて
述べてゐる。

膠濟鐵路接收十週紀要 民國22年1月
四六版 108頁

膠濟鐵路接收十三週紀要 民國25年1月
四六版 80頁

膠濟鐵路規章匯覽 (上冊) 膠濟鐵路總
務處文書課 民國16年 菊版 458
頁

通則、總務、工務、車務、機務、會計、警務 の7
編に分つて載録してゐる。

膠濟鐵路教育概況 膠濟鐵路總務處 民
國20年11月 四六倍版 311頁
直轄する中・小學校に就て述べてゐる。

隴 海 鐵 道

隴海鐵路年鑑 隴海鐵路管理局 民國22
年6月 三五倍版 388頁

總務、車務、工務、機務、會計、駐路各機關、民國
21年工作概要、結論の目次下に同 21年1月1日より
12月末に至る一ヶ年間の情況を主として、最近數年
間の諸統計表其の他を掲げてゐる。巻頭に孫文・顧
孟餘以下本鐵道關係者の肖像及び沿線名勝地の寫眞
を挿入してゐる。

隴海鐵路年鑑 (第二卷・民國二十二・三年

分合編) 隴海鐵路管理局 民國24年9月 三五倍版 650頁

民國20年1月1日より同 23年12月末に至る2ヶ年間の營業工作情況を説いてゐる。其の内容體裁は第一卷と同じである。

隴海鐵路旅行指南 隴海鐵路管理局總務處 民國24年4月 四六倍版 286頁

隴海鐵路略史に初まり旅客運輸規定沿革及び起點速雲車站より西安に至る沿線各驛の案内記である。附録として全線地圖、列車發車時間表あれども運賃表を缺いてゐる。

修築隴海路西蘭段輕便鐵道計劃書 鄭禮明・郭維屏 民國23年1月 四六倍版 13頁

隴海鐵道西安・蘭州間の輕便鐵道敷設計劃書である。

隴海鐵路調查報告 中國國民黨隴海鐵路特別黨部 民國24年 四六倍版 178頁

第一章 修築と管理、第二章 工具と組織、第三章 設備と營業、第四章 物産と交通、第五章 社會と教育 第六章 警備と秩序 の六章に分つて述べてゐることは平漢鐵路の場合と同じである。

隴海鐵路工作報告(民國二十季上半年編) 四六倍版 76頁

興革事項、整理事項、改修事項、改進事項 に関する工作、新工程建築工作、未來の計劃、日常の工作の七項目に分つて述べてゐる。附圖・表圖の挿入18ある。

隴海鐵路客貨運輸附則 民國22年7月 三五版 209頁

第二次全路代表大會特刊 隴海鐵路工會 民國20年1月 四六倍版 72頁

隴海鐵路從事工員の第二回代表大會を民國20年1月鄭州に開いて、鐵道労働者の權利、福祉擁護を討議した。其の内容は頗る低調にして、徒に煽動的な序文・宣言文を掲げてゐる。

北支那諸鐵道

北方大港至唐山鐵路規劃 交通部鐵道部

北方大港籌備委員會 民國24年7月 四六倍版 19頁

唐山・北方大港間の鐵道敷設計劃は民國19年7月に測量を終り其の後之が計算見積をした。全線84軒である。

北方大港至唐山段路綫縱截面圖 交通部鐵道部 北方大港籌備委員會 民國21年4月 青寫眞

北方大港・唐山間の鐵道線路地面圖、高低を示した青寫眞である。

津浦鐵路的爭議 吳譯 國立中央研究院 民國25年5月 四六倍版 132頁

天津・北通州間の鐵道建設の議は光緒14年(1888年)李鴻章の提議にかゝるものなれども、其の後費否兩論對立して議決しなかつた。其の間の經緯を説いたものである。

道清鐵路旅行指針 道清鐵路管理局總務處 民國22年6月 四六倍版 274頁

道口・清化間150軒、支線を合せて163軒の鐵道に関する沿革、列車發着時間表、旅客貨物の運賃表及び運輸連絡の諸規定 を掲げ沿線各驛の案内記を載せてゐる。

交通部直轄道清鐵路監督局營業一覽 民國3年6月 四六倍變型 21葉

1912年現在の各種統計圖表である。

道清鐵路卅週紀念 道清鐵路管理局 民國22年12月 四六倍版 340頁

山西省濱縣の三里灣碼頭(道口碼頭)より沁陽縣の清化鎮に至る道清鐵路の沿革より筆を起し30年後の現狀を評述してゐる。尙本鐵路を山西省の石炭運輸のみに限らず西北に延長して、濟南・甯夏を結ぶ大幹線計劃を説いてゐる。

道清鐵路會計統計年報(四冊) 菊倍版

(1)民國18年分 250頁 (2)同 20年分 250頁 (3)同 21年分 254頁 (4)同 22年分 254頁。英支兩文併記にて各種表の數字は手記である。即ち以上4冊は同一印刷物に統計の數字を變へたものである。

正太鐵路接收紀念刊 正太鐵路管理局 民國22年5月 菊版 160頁

正太鐵路借款は民國21年3月之を完済し、同年10

月巴里銀公司より國民政府鐵道部に引渡した。其の前後の情況を評述せるが本書にして、巻頭に孫文・顧孟餘以下鐵道關係者の肖像、接收式典、沿線名跡地の寫眞を掲げてゐる。

正太鐵路接收週年紀念刊 正太鐵路接收週年紀念刊編纂委員會 民國23年 四六倍版 632頁

總編、總務、工務、車務、機務、等17章に分つて説述してゐる。蓋し本鐵路研究の好參考資料であらう。

正太鐵路接收第四週年紀念特刊 正太鐵路管理局 民國25年10月 三五倍版 70頁

民國21年10月接收後内部組織の變更、各種法規の制定、行政上の改善等を述べてゐる。巻頭には恒例の寫眞を多数挿入してゐる。

正太鐵路貨車運輸附則 民國15年4月 菊版 72頁

正太鐵路消費合作社社務彙刊 陶國華 正太鐵路管理局 民國22年12月 四六倍版 128頁

正太鐵道従業員を主體とする消費組合運動を述べたもので、籌備經過、規章、表式、附載に分けてゐる。巻頭に關係人物の肖像、其の他を挿入してゐる。

山西省政十年建設計劃修築容軌鐵路專案和漢裝美濃大判型 85葉

山西省内に輕便鐵道5900華里を10年間に建設する計劃書にして、豫定線路地圖を挿入してゐる。民國20年以後の書籍と思惟さるゝも、之等に関する何等の明示はない。内容も肉筆、石版印刷の極めて舊式なものである。

對於本省自修同蒲鐵路之質疑及解答 三五版 10頁

張玄武と閻錫山委員長及び經濟統制處問の往復文書5通を掲げたパンフレットである。

同蒲鐵路各支綫簡略情形說明書 和漢裝半紙型 8頁

白晉、太嶺、雷河、運芳、平汾、汾雷、運雷、侯晉、晉博、孟陽、孟黃、忻繁、臨屯、長東、介臨、原繁、岱澤、太興、太遠、朔虎 の20支線に就き極めて簡單なる説明を附してゐる。附圖一枚を添へてゐる。

京滬滬杭甬鐵道

京滬滬杭甬鐵路一覽 民國23年7月 四六倍版 56頁

京滬・滬杭甬鐵路の民國22年7月より23年6月に至る一ヶ年間の營業成績、事業運行情況、其他全般の情況を圖表を以て示してゐる。

滬杭甬路旅行指南 姚逸雲 上海世界出版合作社 民國22年10月 四六倍版 258頁

滬杭甬鐵路の概略を述べ、沿線有名地、上海、松江、嘉善、嘉興、杭州、蕭山、紹興、餘姚、慈谿、甯波10都市の案内記を掲げてゐる。附録に旅行須知として旅行の目的、旅費、服裝準備、其の他必要事項を擧げてゐる。但し運賃表、發車時刻表はない。

京滬滬杭甬鐵路商務會議彙編 京滬滬杭甬鐵路商務會議文書課 民國20年 四六倍版 254頁

民國20年1月上海に於て京滬・滬杭甬兩鐵路沿線の各商業團體代表集つて、兩鐵路を利用して商業の繁榮を計つた。其の會議紀錄にして序文、演說要項、往復文書、會議議案、討議願末、審查報告及び決議案に分つて説いてゐる。

鐵路會計統計年報滬甯・滬杭甬鐵路局造報

民國14年分 滬甯 說文12頁 統計48頁
同 15年 滬杭甬 說文18頁 統計48頁
同 16年 滬杭甬 說文20頁 統計48頁
同 17年 滬杭甬 說文20頁 統計44頁
同 18年 京滬 說文20頁 統計48頁
同 19年 京滬 說文20頁 統計48頁

年度により滬甯(京滬)滬杭甬の兩線に分れてゐる。内容は兩者合一のもの認められる。説明文は英文を使用してゐる。

滬甯・滬杭甬鐵路民國十八年上半期工作報告 民國18年8月 四六倍版 96頁

(1)收回路權の豫備 (2)兩路路務の整理 (3)今後の施設及び希望 (4)附録 編者發行者の明示なきも中國國民黨、滬杭甬鐵路特別黨部の作成せるものならんか。

京滬・滬杭甬鐵路民國十八年工作報告書

(附・十九年上半年進行計劃) 四六倍版 106頁

總務、車務、機務、工務、材料、領務の六項目下に京滬、滬杭甬の二鐵路に分つて述べてある。民國18年度工作報告は46頁にして、19年度上半年分は60頁である。

京滬・滬杭甬鐵路管理局二十二年四季工作概況 四六倍版 52頁

民國22年1月より12月に至る1ヶ年を四季に分つて、3ヶ月毎に管理局内各級の事務、業務の改善、施設を述べてある。

京滬・滬杭甬鐵路管理局二十三年四季工作概況 四六倍版 96頁

民國23年1月より12月に至る17間を四季に分ち、各3ヶ月毎に管内の事務、業務の改善、施設に就て述べてある。

京滬・滬杭甬鐵路管理局二十四年四季工作概況 四六倍版 106頁

民國24年1月より12月に至る1ヶ年間を四等分し各3ヶ月毎に其の事務、業務の成績を述べてある。

京滬・滬杭甬鐵路管理局二十四年工作概況(第二期) 菊倍版 26頁

簡單なリーフレットにして、書籍の體裁を具へていない。

兩路創痕 國民黨京滬滬杭甬鐵路特別黨部執監委員會 民國22年5月 四六倍版 136頁

民國21年上海事變による京滬・滬杭甬兩鐵路の被害状況を詳述したものである。

京滬・滬杭甬鐵路管理局重建局所落成紀念刊 四六倍版 53頁

民國21年の第一次上海事變に上海北站は兵艦にかゝつた。翌年之を修復せしが家屋狹隘を告げたから種々調査商議の結果現在の地を下して民國24年10月工を起し、工費68萬元を以て翌25年3月其の落成を見た其の紀念刊行物即ち本書であつて、巻末には沿線の名勝地を紹介してある。

京滬・滬杭甬鐵路客運貨運須知(第一版) 京滬滬杭甬鐵路車務處 民國22年6月 菊版 150頁

京滬・滬杭甬鐵路の貨物運輸に就き一般荷主に對する案内書である。

鐵道部首都鐵路輪渡通車紀念刊 民國22年10月 四六倍版 12頁

浦口、南京間の連絡船就航を紀念するものにして、沿革より工事概況、その他を述べてある。現場説明写真數葉ある。

鐵道部首都鐵路輪渡通車二週年報告 民國24年10月 四六倍版 88頁

南京・浦口間に連絡船を設けて、京滬・津浦兩鐵道の貨客の積卸をなすことなく直接車輛を兩線に連結せしむる首都輪渡は、民國22年10月1日より公開した。其の二週年に際しての紀念刊行物である。

中支那諸鐵道

浙贛鐵路聯合公司總報告 四六倍版 138頁

民國24年7月より25年6月に至る1ヶ年間の浙江・江西兩省内即ち杭州より南昌に至る鐵路の建設計劃、進行状況を述べたものである。

浙江省杭江鐵路規章彙編 四六版 412頁

浙江省杭州より江山に至る鐵道の工事及び既成鐵路の營業に關する法規を集めたもので、民國20年6月浙江省政府委員會の議決を経たものである。

玉萍鐵路建築經費概算書 江西省政府經濟委員會 民國22年10月 四六倍版 10頁

玉山・南昌・萍鄉間の鐵道敷設計畫見積書である。説文10頁、計算表2枚よりなる極めて、簡單なものである。

江西玉萍鐵路建築經費概算書 江西省政府經濟委員會 民國22年10月 四六倍版 10頁

玉山・萍鄉間586軒の鐵道敷設に關し江西省の鹽稅附加税を擔保として、公債を發行し之に充てんとする費用概算書である。

南海鐵路慶祝鐵道部接管本路二週年紀念大會特刊 民國20年1月 菊版 114頁

民國18年鐵道部の直轄となつて以來2ヶ年間の營業成績を述べたものである。

南海鐵路運貨規章 菊版 60頁

民國13年11月より施行のものである。

前湖北商辦川粵漢鐵路股款清理處徵信錄 四六倍版 330頁

清末宣統元年政府は粵漢・川漢鐵路の敷設に際し外債を起さんとして、漢口を中心とする湖北省民の反對に遇ひ之が動機となつて、革命勃發せしが川粵漢鐵路を湖北省民が民營にて敷設せんとして、株主を募集した際の應募者記録である。發行年月等の明記なきも民國6年中のものならん。

川漢鐵路過去及將來 詹文琮 湘鄂路局工務處 民國24年1月 菊版 232頁

沿革、川漢鐵路商辦之經過、收歸國有、四國銀行借款修築漢粵川鐵路辦理之經過、川漢鐵路停工之原因、川漢線路經過、江河城市及商務交通、人口各情形、川漢鐵路復興、大宗貨品四川輸出與輸入情形、川省物產、結論の10項に分つて説いてある。

粵漢鐵道

粵漢鐵路株詔段通車紀念刊 粵漢路工程局 民國25年7月 四六倍版 207頁

粵漢鐵路は株州・韶州間即ち株詔段の工事完成と共に民國25年4月全線開通した。其の紀念刊行書即ち本書にして、巻頭には題字文字數多あり。鐵道部長張嘉璈以下關係者の肖像、雜工事を思はしめる大鐵橋、陸道の寫真が多い。内容も亦論文工作紀要、附録等充實し印刷體裁共に結構である。

粵漢鐵路株詔第二總段工程紀略 株詔工程局 民國24年1月 三五版 23頁

粵漢鐵路株州至樂昌段一年來工作概要 粵漢鐵路株詔段工程局 民國23年6月 四六倍版

株州・樂昌間の工事は民國22年6月に始まり、滿1ヶ年を経過した現在迄の工事概況を述べてある。

粵漢鐵路株詔段民國二十四年工作之回顧 株詔段工程局 四六倍版 60頁

粵漢鐵路株州・韶州間の雜工事を思はしむる寫真多數挿入してある。印刷體裁共に結構である。

整頓湘鄂鐵路計劃書 李世仰 粵漢鐵路湘鄂段管理局 民國19年4月 菊版 38頁

著者は粵漢鐵路湘鄂段管理局長にして國民革命軍の北伐完成後、積極的に所管鐵道の運營を企圖せるものを収めて本書をなしてある。

五年後之湘鄂鐵路 湘鄂鐵路局長李世仰 民國19年8月 四六版假綴 42頁

粵漢鐵路武昌・株州間は開通以來10餘年、内亂其の他の影響を受けて内容不良である。依つて5年以内に之が改善整理を成さんとする計劃を説いたものが本書である。

粵漢鐵路南段管理局客貨車運輸附則 民國22年4月 菊版 69頁

民國22年4月より實施のものにして運輸規定及び各種運賃表を掲げてある。

粵漢綫湘鄂段客貨運輸附則(第十版) 民國23年11月 菊版 10頁

英文併記のパンフレットである。

粵漢鐵路株詔段客貨運輸附則 衡州株詔工程局運輸課 民國25年3月 菊版 36頁

附録として各種運賃表がある。

粵漢綫湘鄂段貨物運賃表(第十版) 民國23年11月 菊版 30頁

南支那諸鐵道

交通部直轄廣九鐵路管理局營業一覽 周獻探 廣九鐵路總務處 民國3年3月 四六倍變型 23葉

極めて簡單なる一覽表にして形式も亦陳腐である。

漳廈鐵路圖說 民國17年2月 四六倍版 34頁

福建省漳州・廈門間の鐵道の沿革、從來の營業狀態現在の情況、失敗の原因、改善方法に就き述べてある。特に民國16年の營業狀態を表示してある。

湘黔鐵路之當前問題 請願代表駐京通訊處 菊版 34頁

湖南・貴州・鐵道敷設に當り湖南省邵陽縣以下11縣が計劃線の内南方線を採用せんことを政府當局者に請願した文書を集めたパンフレットである。以上請願運動は民國25年4月前後に行はれたのであらう。

賀梧鐵路踏勘報告書(廣西大學叢刊第一種) 葛天回 民國24年5月 四六倍版 34頁

廣西省梧州より賀縣に至る鐵道敷設の測量報告書にして、同測量隊は廣西大學教授葛天回を隊長として、同大學土木工程科學生16名より組織した。民國24年1月より3ヶ月を隔して、成れるものである。沿線各地の寫真及び測量平面圖を挿入してある。

R025.922
C67

R025.922-C67



1200500765753

終

昭和十四年十一月二十八日印刷 (非賣品)
發行所 上海施高塔路四〇號
著者 大塚 令三
印刷人 上海大連灣路一三〇號
印刷所 上海大連灣路一三〇號
南京雞鳴寺路一號
發行所 中支建設資料整備事務所
編譯部